


 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)


 No.50

. . . 目 次 . . .

・報告 厚生労働省による“仕事と不妊治療の両立支援”	1
・第16回日本生殖看護学会学術集会のご案内	3
・第13回生殖看護実践セミナー開催のお知らせ	5
・これから行われる学術集会・研修会情報(2018.7~10)	6
・論文投稿にチャレンジしてみませんか?	7
・理事および監事選挙ご投票のお礼	7
・理事会報告	8
・事務局からのお知らせ	8
・編集後記	8



報 告

厚生労働省による“仕事と不妊治療の両立支援”

産業医科大学 實崎美奈

本年度の第16回日本生殖看護学会学術集会は「治療と仕事の両立支援－女性が輝き続けるために－」をテーマに、福岡の地で開催します。今回はこの場をお借りして、学術集会のテーマに関する昨今のニュースをご紹介します。

今年3月に厚生労働省より、「仕事と不妊治療の両立支援のために」と題したリーフレットが発行されました¹⁾。このリーフレットは企業向けに作成されたものであり、不妊治療の概要や両立支援に関する企業および労働者を対象としたアンケートの調査結果、実際に従業員の不妊治療をサポートしている企業の取り組みの実際、「不妊治療連絡カード」などが8ページにわたって紹介されています。またこのリーフレットの発行に先立ち、昨年10月にはNPO法人Fineから、「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part 2」の結果が公表されました^{2) 3)}。こちらは同法人のWebサイトを利用して、5,000名以上からの回答結果をまとめたものとなっております。その中には、「仕事をしながら不妊治療を経験したことがある人のうち95.6%が『両立は困難』と回答し、仕事と不妊治療の両立が困難で働き方を変えざるを得なかった人のうちの半数が『退職』を選択していた」などの報告がなされています。

最近、人々の不妊に対する考え方や概念も、20数年前とは大きく変化してきました。上記のように、従業員の不妊治療を積極的にサポートする企業では、妊婦が妊婦健診を受診する際の対応と同等の「不妊治療

連絡カード」を使用する取り組みが始まり、ようやくここまで来たか、という感があります。しかし、不妊治療の特性である「いつまで治療するかの見通しが立たない」ことや、「受診日が突然変更となったり、突然決定したりする」などの状況から、責任の重い仕事には就きにくくなり、仕事との両立は困難であると考えてしまう要因となっています。

一方、最近よく“働き方改革”という言葉を目にします⁴⁾。“働き方改革”は、第196回国会（平成30年1月～6月）での法案提出が予定されていたこともあり、今年に入ってよくメディアで取り上げられました。この“働き方改革”にも、仕事と不妊治療の両立支援の後押しとなりそうなものが含まれています。例えば、“働き方改革”実現のための課題には、1. 長時間労働の解消、2. 非正規と正社員の格差是正、3. 高齢者の就労促進の3つが挙がっており、このうち特に2は、将来的には正規／非正規という枠組み自体をなくしてライフステージにあわせた働き方を選べるようにすることを目的としています。私は個人的に、この課題の達成が仕事と不妊治療の両立支援にもつながっていくことを期待しています。

臨床において、仕事と不妊治療の両立支援は対応が困難な課題のひとつではないでしょうか。皆様の中にも、患者の次回受診日時調整に苦慮した経験をお持ちの方がおられると思います。これらの支援方法等について、本学術集会での特別講演やシンポジウムで共に考え、検討できればと考えています。

1) 厚生労働省 仕事と不妊治療の両立支援のために

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/dl/30a.pdf> (平成30年3月)

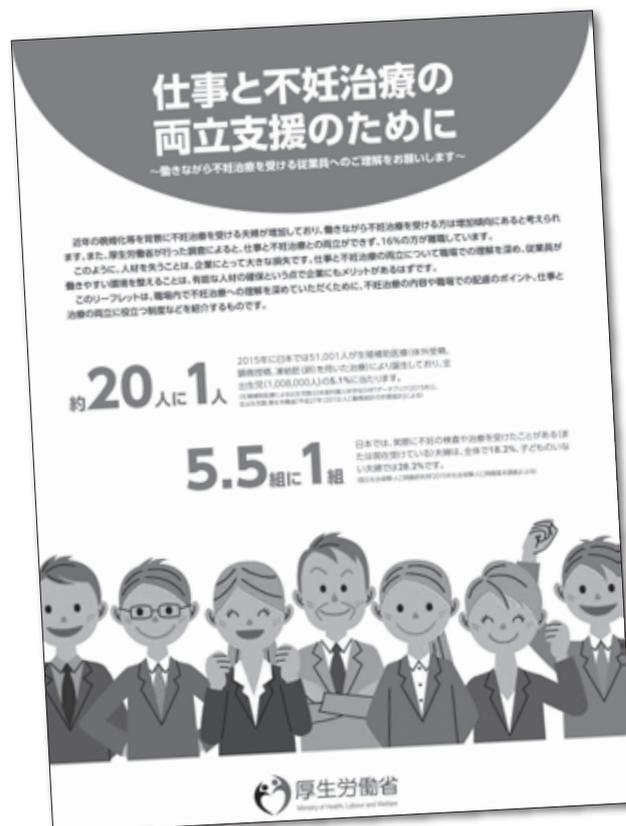
2) NPO法人Fine「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part 2」結果

http://j-fine.jp/prs/prs/fineprs_ryoritsu2_1710.pdf (平成29年10月)

3) NPO法人Fine 不妊白書2018 当事者5526人の声から見えた「仕事と不妊治療の両立」 2018年

4) 首相官邸 働き方改革の実現

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/ichiokusoukatsuyaku/hatarakikata.html> (平成28年9月)



◀厚生労働省が発表したリーフレット

第16回日本生殖看護学会学術集会のご案内

テーマ：治療と仕事の両立支援 ―女性が輝き続けるために―

日時：2018年9月9日（日）9：00～16：30

場所：アクロス福岡 国際会議場（4階）

この度、第16回日本生殖看護学会学術集会を福岡で開催させていただくことになりました。

本学術集会のテーマは、2017年9月に報告されたNPO法人Fine（不妊当事者の自助グループ）による「第2回仕事と不妊治療の両立に関するアンケート調査」の結果を受け、また私の所属先の特色を踏まえた上で選定いたしました。学術集会当日は、特別講演やシンポジウムを通して“治療と仕事の両立支援”について、参加者の皆さまとともに考えていく機会にできれば幸いです。

福岡での学術集会開催は、第5回以来、11年ぶり2回目となります。第5回学術集会と同じアクロス福岡にて、九州で活躍する企画・運営スタッフとともに皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

（学術集会長 實崎 美奈）

●学術集会プログラム（時間は変更となる可能性があります）

9：00～	開場・受付開始
9：30～9：50	開会の辞 会長講演 實崎 美奈（産業医科大学 産業保健学部）
10：00～11：20	一般演題（口演）発表
11：30～12：30	特別講演「看護職のワーク・ライフ・バランス：子どもを持つことを支援するとは」 講師：福井トシ子氏（日本看護協会 会長）
12：30～13：30	ランチョンセミナー「生殖医療医が看護師に希望すること」 講師：宇津宮隆史氏（セント・ルカ産婦人科 院長） 協賛：メルクセローノ株式会社
13：30～14：00	総 会
14：30～16：00	シンポジウム「治療と仕事の両立支援を考える」 講師：治療と仕事の両立支援の経験を持つ当事者 久保島美佳氏（蔵本ウイメンズクリニック） 柳田 洋子氏（産業医科大学病院） 中谷 淳子氏（産業医科大学 産業保健学部）
16：20～16：30	閉会の辞

* 一般演題（ポスター）発表は、開催時間内に常時閲覧可能です *

●一般演題のお申し込み

一般演題のお申し込みは、5月14日（月）をもって締め切りました。
多数のお申し込みをありがとうございました。

●参加のお申し込み

下記の学術集会、事前参加申込のURLにアクセスし、必要事項を入力の上送信してください。
フォーム送信後、指定の口座（下記参照）へ参加費をお振り込みください。

*学会事務局が入金を確認次第、申し込み完了となります。

申込フォームの送信のみでは申し込み完了とはなりませんのでご注意ください。

学術集会ホームページ 事前参加申込のURL <http://jsfn16.jp/sanka/>

<参加費>

事前登録：会員 5,000円、非会員 6,000円、学生（大学院生・研修生は除く）1,000円

当日参加：会員 6,000円、非会員 7,000円、学生（大学院生・研修生は除く）2,000円

<事前参加申込み受付期間> 平成30年8月15日（水）まで**<お振り込み先>**

[金融機関名] ゆうちょ銀行

[店番] 一七九（イチナナキュウ）店

[記号番号] 01760-6-169443

[口座番号] 0169443

[預金種目] 当座

[口座名義] 第16回日本生殖看護学会学術集会

●ランチョンセミナーのご案内

参加の事前登録者および若干名分の昼食をご準備いたしますので、参加の事前登録をしていただくことをお勧めいたします。

**●お問い合わせ先**

第16回 日本生殖看護学会学術集会 事務局

（産業医科大学 産業保健学部 広域・発達看護学講座）

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

事務局E-Mail：office@jsfn16.jp

学術集会HP：http://jsfn16.jp/

第13回 生殖看護実践セミナー開催のお知らせ

テーマ：不妊治療と心のケアにおける多職種連携

目的：心理学を専門とする専門職の方々から不妊女性へのアプローチの特徴について講義を受け、日常の心理ケアや多職種連携のあり方について皆様と共に考えたいと思います。

日時：平成30年7月28日（土） 13：30～16：00

場所：幕張メッセ 国際会議場103

参加費：会員 無料、非会員 1,000円（定員80名、先着順）

スケジュール：

13：10～13：30	受付
13：30～13：40	オリエンテーション、挨拶
13：40～14：20	講演1 講師 小倉 智子先生（生殖心理カウンセラー／臨床心理士）
14：20～15：00	講演2 講師 二宮 美香先生（精神看護専門看護師 日本医科大学武蔵小杉病院）
15：00～15：10	休憩
15：10～15：45	全体ディスカッション・質疑応答
15：45～16：00	まとめ、セミナー評価アンケート記入

申し込み方法：

お名前、ご所属、連絡先、会員の方は会員番号を明記の上、下記宛にメール又はFAXでお申し込みください。締め切りは7月13日（金）まで

【セミナーお申込み・お問い合わせ先】

日本生殖看護学会教育推進委員会 担当：青柳優子（順天堂大学医療看護学部）

E-mail：jsfn.edu@gmail.com

FAX：047-350-0654 TEL：047-355-3111(代)

※FAX用紙は、学会ホームページよりダウンロードできます。

日本生殖看護学会 第13回生殖看護実践セミナー

不妊治療と心のケアにおける多職種連携

心理学を専門とする専門職による不妊女性へのアプローチの特徴について知り、日常の心理ケアを振り返ると共に多職種連携のあり方について共に考える機会としましょう。

日時:平成30年7月28日(土)13:30~16:00
場所:幕張メッセ 国際会議場103
対象:生殖看護実践者、学生など
定員:80名(先着順)
参加費:会員 無料 非会員 1,000円

講師:小倉 智子先生
生殖心理カウンセラー/臨床心理士
1113東京医科大学小杉キャンパス

講師:二宮 美香先生
1227精神看護専門看護師
日本医科大学武蔵小杉病院

タイムスケジュール
13:10~13:30 受付
13:30~13:40 オリエンテーション、挨拶
13:40~14:20 講演1
14:20~15:00 講演2
15:00~15:10 休憩
15:10~15:45 全体ディスカッション・質疑応答
15:45~16:00 まとめ、セミナー評価アンケート記入

【申し込み方法】
お名前、ご所属、連絡先、会員の方は会員番号を明記の上、下記宛にメール又はFAXでお申し込みください。
【申し込み締切日】7月13日(金)
【お申込み・お問い合わせ先】
日本生殖看護学会教育推進委員会 担当:青柳優子(順天堂大学医療看護学部)
E-mail: jsfn.edu@gmail.com
FAX: 047-350-0654 TEL: 047-355-3111(代)
※FAX用紙は、学会ホームページよりダウンロードできます
<http://jsfn.u-t.ac.jp/>

これから行われる学術集会・研修会情報 (2018年7月～10月)

月	日	学会・研修会名	会 場	学会 HP / 運営事務局
7月	1日～4日	欧州ヒト生殖医学会：ESHRE (第34回)	バルセロナ (スペイン)	https://www.eshre2018.eu/
	2日～3日	不妊カウンセラー・ 体外受精コーディネーター 養成講座 (第42回)	ニッショーホール (東京都港区)	http://www.jsinf.com/event/entry.php?id=72
	26日～27日	日本受精着床学会 (第36回) 「生殖医療と社会の調和： 子を望むカップルとともに」	幕張メッセ 国際会議場 (千葉県千葉市)	http://jsfi36.umin.jp/ 日本受精着床学会事務局 株式会社コンベックス内 〒106-0001 東京都港区虎ノ門5-12-1 虎ノ門ワイコービル TEL：03-5425-1606 FAX：03-5425-1607 E-mail：jsfi@convex.co.jp
	28日	不妊症看護認定看護師 ポストコース講座 講演：「妊娠・不妊・産後の精神 障害に対する対応について」 講演：「CN 活動報告」	幕張メッセ 国際会議室103 (千葉県千葉市)	聖路加国際大学教育センター生涯教育部 http://edu-sk.luke.ac.jp/course/detail/228/
	28日	生殖看護実践セミナー (第13回) 「不妊治療と心のケアにおける 多職種連携」	幕張メッセ 国際会議室103 (千葉県千葉市)	http://jsin.umin.jp/study/jsinsem2018.7.pdf 日本生殖看護学会教育推進委員会 担当：青柳優子(順天堂大学医療看護学部) TEL：047-355-3111(代) FAX：047-350-0654 E-mail：jsfn.edu@gmail.com
8月	4日～5日	日本女性心身医学会 (第47回) 「陽だまり医療 ～スローセラピー ころからからだから～」	千里ライフサイエンス センター 5階 (大阪府豊中市)	http://jspog47.umin.jp/index.html 有限会社トータルマップ 〒675-0055 兵庫県加古川市東神吉町西井ノ口 601-1 TEL：079-433-8081 FAX：079-433-3718 E-mail：jspog47@totalmap.co.jp
	25日～27日	日本思春期学会 (第37回) 「先端科学の視点をふまえた 思春期学の展開 - 自発性をはぐくむ」	一橋大学一橋講堂 (東京都千代田区)	http://www.academiasupport.org/jsa2018.html 一般社団法人アカデミアサポート内 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7-920 TEL：03-5312-7686 FAX：03-5312-7687 E-mail：jsa2018@academiasupport.org
9月	6日～7日	日本生殖医学会 (第63回) 「次世代の生殖医学を担う者たちへ ～北の国からのメッセージ」	旭川市民文化会館 (北海道旭川市) 星野リゾート MOM 7 旭川 (北海道旭川市)	http://www.congre.co.jp/jsrm63/ 株式会社コングレ 北海道支社 〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目2番12号 住友生命札幌ビル TEL：011-233-0005 FAX：011-233-0035 E-mail：jsrm63@congre.co.jp
	9日	日本生殖看護学会 (第16回) 「治療と仕事の両立支援 - 女性が輝き続けるために -」	アクロス福岡 国際会議場 4階 (福岡県福岡市)	http://jsfn16.jp/ 第16回 日本生殖看護学会学術集会事務局 産業医科大学 産業保健学部 広域・発達看護学講座 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

9月	15日～16日	日本遺伝看護学会（第17回） 「多様性と唯一性を伝える 遺伝看護」	長崎大学医学部 良順会館 (長崎県長崎市)	http://idenkango.com/05/05_1/17.html 日本遺伝看護学会第17回学術大会事務局 〒852-8520 長崎市坂本1-7-1 長崎大学医学部保健学科内 TEL：095-819-7981 FAX：095-819-7981 E-mail：jsgn17@ml.nagasaki-u.ac.jp
10月	19日～20日	日本母性衛生学会（第59回） 「朱鷺の国から ～母性衛生のさらなる飛翔へ～」	朱鷺メッセ (新潟県新潟市)	http://admedic.jp/bosei59/ 株式会社 アド・メディック内 〒950-0951 新潟市中央区鳥屋野310 OSMビル1F TEL：025-282-7035 FAX：025-282-7048 E-mail：bosei59@admedic.jp
	27日～28日	日本IVF学会（第21回） 「Future of ART」	名古屋マリオット アソシアホテル 16F タワーズボールルーム (愛知県名古屋市)	https://www.jsar.or.jp/

論文投稿にチャレンジしてみませんか？

皆様が行った貴重な研究を論文として形にすることは、生殖看護に携わる看護職者に知識を与え、広く活用され、看護の質の向上に貢献します。また、研究にご協力いただいた方々に対して、感謝の気持ちを示すことでもあります。

編集委員会では、投稿までの流れが効率よく進むように検討を重ね、最終原稿を作成する際のフォーマットと作成マニュアルを整備いたしました。また、はじめて研究論文を投稿される方には編集委員が丁寧にサポートいたします。

皆様の看護実践能力を向上させるためにも、研究論文の投稿にチャレンジしてみませんか？

第16巻第1号学会誌（6月発行予定）の投稿締め切りは、2018年11月26日（月）です。

*投稿の詳細は、学会誌やHPに掲載する「論文投稿規定」をご確認ください。

理事および監事選挙ご投票のお礼

新緑の季節となりました。ニュースレターNo.49号（2018年2月）で告示されたとおり、日本生殖看護学会理事および監事の選挙を実施いたしました。会員の皆さま、年度初めのお忙しい中ご協力くださり誠にありがとうございました。投票に際し、返信用切手の貼り忘れにより会員の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。切手郵送の到着を待って投票された方を鑑み、5月12日到着分までを有効投票とさせていただきます、当学会の選出規程に則り厳正に開票し、後日当選結果をお知らせいたします。

選挙管理委員会 委員長 遊佐浩子

中村 希、舛谷寛子

理事会報告

第2回理事会

日時：2018(平成30)年3月9日(金)
18:00~19:30

場所：聖路加国際大学本館5階506室

出席者：野澤、上澤、森明、坂上、青柳、
實崎(学術集会長兼務)、有森、清水、村本、
森恵、朝澤(書記)

【報告事項】

1. 第16回日本生殖看護学会学術集会準備進捗状況。
2. 理事長：認定看護師制度を考えるためのヒアリング(日本看護協会)の説明。
3. 広報委員会：広報委員会活動計画およびNL発行計画案。
4. 教育推進委員会：第13回生殖看護実践セミナー準備状況
5. 実践開発委員会：Fine祭り2017の相談員の派遣状況。

6. 編集委員会：学会誌第15号発刊に向けた進捗状況。
7. 将来検討委員会：研究支援個別相談会開催の募集状況。
8. 総務：会員管理、選挙管理委員会設置状況。
9. 看保連対応WG：日本生殖医学会との連携進捗状況。
10. その他：厚生労働省の「仕事と不妊治療の両立について」の取り組み状況。

【審議事項】

1. 理事長：科研「現代社会が求める生殖看護に関わる看護師のコンピテンシーモデルの創生」の調査方法の検討。
2. 入会審査：1名の入会を承認。
3. 生殖看護テキスト発刊計画について。

事務局からのお知らせ

1. 第16回学術集会、編集委員会への問合せは、それぞれの事務局に直接お願いいたします。
2. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、HP、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
3. 学会の年会費は8,000円です。今年度の会期は2017年9月1日~2018年8月31日です。会費納入は事業運用上、できるだけお早めにお願ひ申し上げます。また、退会を希望される場合は、当該年度まで、年会費を完納していただく必要がありますので、ご了承ください。
4. 異動・転居された方は必ず事務局までお知らせください。学会ホームページから住所・勤務先 変更届をダウンロードできます。宛先不明ですと、ニュースレター、学会誌をお届けすることができませんので、ご協力お願い申し上げます。
5. 会員数360名(平成30年4月19日現在)です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。

日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加国際大学内

TEL & FAX 03-5550-2293 E-mail : jsin@slcn.ac.jp

ホームページ <http://jsin.umin.jp>

口座番号：00170-2-333414

加入者名：日本生殖看護学会

●次号の原稿締切日

ニュースレター第51号の原稿締切日は、2018年9月25日(火)を予定しています。

会員の皆さまにお知らせしたい情報などがございましたら、
広報委員(實崎(じつざき) : jitsuzaki02@gm.oita-nhs.ac.jp)
までご相談ください。

◆編集後記

梅雨の時期はどうも、雨雲を見上げる度に気持ちが沈みがちになってしまいます。しかし先日、学生が講義の感想用紙の端に、「雨は嫌い。でも傘に当たる雨の音は好き。」という走り書きをしているのを見つけ、何だか心が洗われ、清々しい気持ちになりました。

私も今日は、傘に当たる雨の音に耳を済ませながら帰路に就こうと思います。

広報委員会 實崎美奈